

# えらぶゆり

えらぶゆりは山野に自生していたゆりを掘取り、明治33年から栽培が始まった。明治35年には英国人で横浜で輸出部をしていたアイザックバンテングが来島し、和泊で商売をしていた市来崎勘兵衛氏に集荷させたのがゆり球根販売の始まりである。その後、品種の改良や流通機構の改善をはかり世界でも有名なエラブユリとして生産。その一部がオランダを中心に世界各国で名声を博しているが、ほとんどは国内の切り花産地で栽培され切り花として出荷され、純白で美しくホコヤカな香りが多くの方々に愛好されている。



## 花壇・庭園で楽しむ栽培方法

- 植付時期・・・9月～11月
- 場所は南向が良い。
- 古根を切って穴を掘り種球を置く。
- 深さ15cmの穴を25cm間隔に掘り、心芽を上にして覆土をする。
- 芽が出始めたら、化学肥料か有機肥料を追肥する。元肥でもよい。



## 鉢 植

- 鉢の大きさによって1球植か2球植にする。
- 雪・氷が張る時はビニールをかぶせる。
- 寒さにはわりあい強い。

